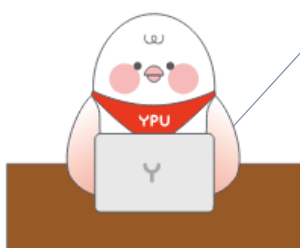


# Microsoft365 サインイン、 Office インストール手順書



第5版：2026.05.01

将来構想推進局 DX・IR推進室

# 目次

はじめに .....	2
1. 事前準備の確認 .....	2
2. サインイン設定と2段階認証の設定.....	2
2. -1 Authenticator（オーセンティケイター）による認証設定 .....	2
2. -2 SMSによる認証設定 .....	8
3. Officeアプリのインストール.....	11
4. 注意・補足事項 .....	13
5. 問い合わせ先.....	14

## はじめに

2024年4月より、Microsoft365を学内のグループウェア（コミュニケーション、情報共有、共同作業など、学業や業務の推進・効率化を図るためのプラットフォーム）として活用しています。本目的遂行のため、Microsoft社が教育機関向けに提供しているA5プランと呼ばれるライセンスを全学生・全教職員に付与しました。このマニュアルでは新しくPCを購入した人向けに、A5プランを利用してMicrosoft365を使い始める時に必要な手順と、Office（Word、Excel、Outlookなどのアプリ）をインストールする方法を説明します。

なお、MACコンピュータをお使いの方は、別マニュアル（Microsoft365設定手順書（MAC用））を参照ください。

画面の表示は、お持ちのパソコンや既にインストールされているアプリやバージョンなどによって変わることがあります。このマニュアルで表示されている画面ショットは一例として見てください。

### 1. 事前準備の確認

パソコンを起動してデスクトップ画面を表示することが可能であることを確認してください。インターネットに接続可能な環境であることを確認してください。本マニュアルでは学内のWifiへ接続を行って設定しています。

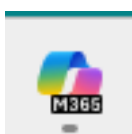
通信可能なスマートフォンが手元にあることを確認してください。Microsoft365を利用するために2段階認証が必要になります。本マニュアルではその認証方法としてMicrosoft Authenticator（オーセンティケイター）というスマートフォンアプリを使用します。スマートフォンをお持ちでない場合などの理由でアプリを利用できない場合は別の方法を使用しますのでDX・IR推進室にお知らせください。

### 2. サインイン設定と2段階認証の設定

大学から付与されたMicrosoft365アカウント（メールアドレス）をパソコンに登録し、サインイン時に2段階認証を使った本人確認を行うよう設定します。

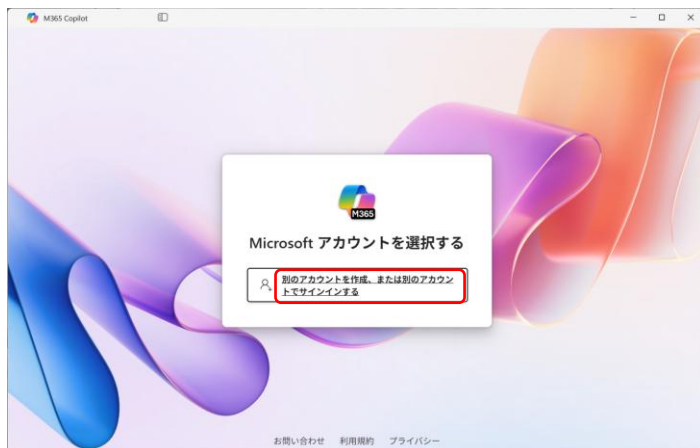
#### 2. -1 Authenticator（オーセンティケイター）による認証設定

タスクバーにあるMicrosoft365Copilotのアイコンをクリックして起動します。タスクバーにない場合は、スタートメニューから「Microsoft 365 Copilot」を起動してください。「Microsoft365 Copilot」が見つからない場合は、<https://m365.cloud.microsoft/>をクリックします。

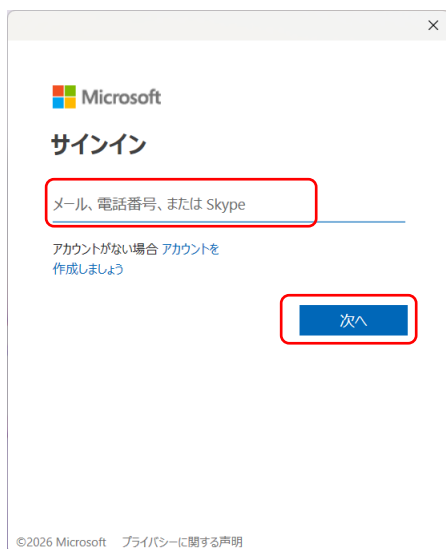


「別のアカウントを作成、または別のアカウントでサインインする」をクリックします。

(この画面にならない場合は、画面左下の名前をクリックして「別のアカウントでサインイン」または「Sign in with a different account」を選択してください)



D X・I R推進室から発行されたメールアドレス (~@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp) を入力して「次へ」をクリックします。

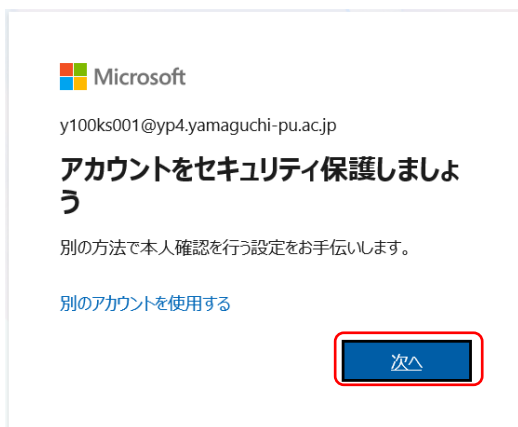


D X・I R推進室から発行されたパスワードを入力して「サインイン」をクリックします。



「アカウントをセキュリティ保護しましょう」画面が出ますので、2段階認証の登録を進めるために

「次へ」をクリックします。



「Microsoft Authenticator のインストール」画面が出るので、このタイミングでスマートフォンに Microsoft Authenticator アプリが入っていないはインストールしてください。インストールが完了した場合や、すでにインストール済みの場合は「次へ」をクリックします。



●留意事項-1

既にアプリがスマホにインストールされており、別の Microsoft のアカウントを現在使用している場合は、絶対にアンインストールや再インストールをしないでください。既に登録済みのアカウントにログインできなくなります。

●留意事項-2

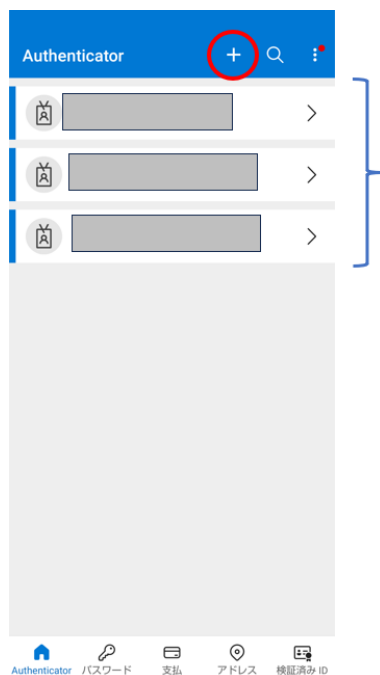
Microsoft Authenticator アプリを iPhone に入れた場合、自動で削除されないように設定アプリから「App Store」→「非使用の App を取り除く」の設定をオフに変更してください。（自動で削除されると認証できなくなります）

（この画面の説明通り）スマートフォン側で Microsoft Authenticator がアプリの通知許可を求めて

きた場合は許可します。



スマートフォン側で Microsoft Authenticator アプリを開き、「アカウントを追加」から「職場または学校アカウント」を選択します。



ここには、既に設定済みのアカウントが表示されます。初めて Authenticator をインストールしたスマホでは、何も表示されていません。



その後、パソコンの画面の「次へ」をクリックします。

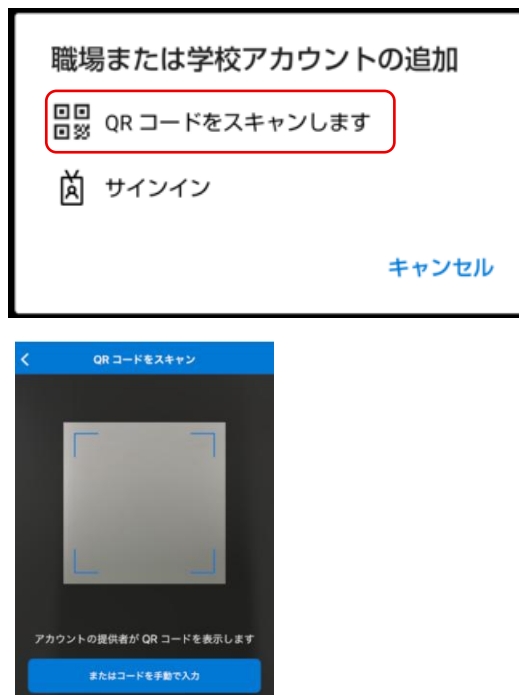
下記の画面が出るので、スマートフォンの画面の「QRコードをスキャンします」を選択し、パソコン画面のQRコードをスキャンします。※「カメラ」アプリでスキャンしないよう注意してください。

スキャンが完了すると、スマートフォン側でアカウントが登録されるので、パソコン画面の「次へ」をクリックします。

(PC側の画面)



(スマートフォン側画面)



下記画面が出ると同時にスマートフォン側で入力画面が出るので、パソコン画面の数字2桁をスマートフォンに入力して「はい」を選択します。ここで、スマートフォン側にセキュリティ設定されている場合、スマートフォンの指紋認証・顔認証などが出ますので対応してください。



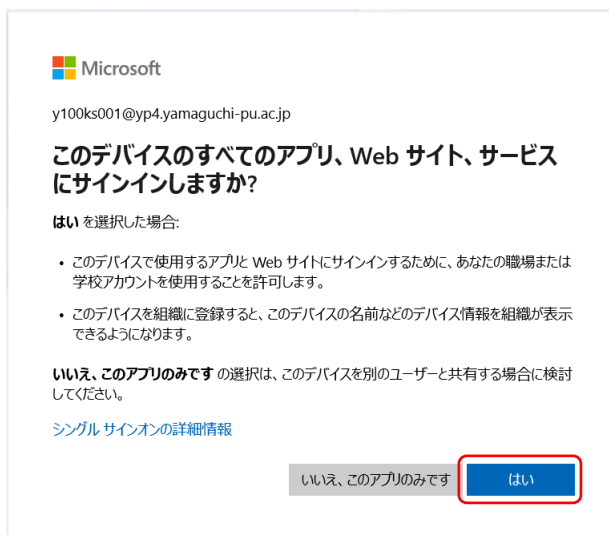
★トラブルシューティング：スマホでパソコン画面の QR コードをスキャンしても、先に進まない。QR コードがタイムアウトしたためです。パソコン側で「別のサインイン方法を設定してください」をクリックし、次の画面で「Microsoft Authenticator」をクリックし、QR コードを出します。

2 段階認証の登録が完了しましたので「完了」をクリックします。

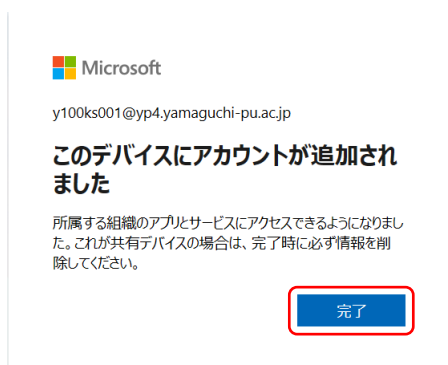


アプリパスワードの入力画面が出ますので、8桁以上のパスワードを自分で決めて入力します。このアプリパスワードは、大学の授業や業務で利用することはありません。

続いて以下の画面で、他のアプリでも同じアカウントを使うかどうかを聞かれた場合、通常は「はい」を選択します。いいえを選択した場合は、今後の office のインストールやメール設定の時に再度サインインを行う必要があります。



アカウントの登録が完了しましたので「完了」をクリックします。



## 2. -2 SMS による認証設定

認証方法は複数登録します。スマホを買い換えた際、それまで使用していたスマホが手元がない時などは、二つ目の認証方法が必要になります。

タスクバーにある Microsoft365Copilot のアイコンをクリックして起動します。タスクバーにない場合は、スタートメニューから「Microsoft 365 Copilot」を起動してください。「Microsoft365 Copilot」が見つからない場合は、<https://m365.cloud.microsoft/> をクリックします。

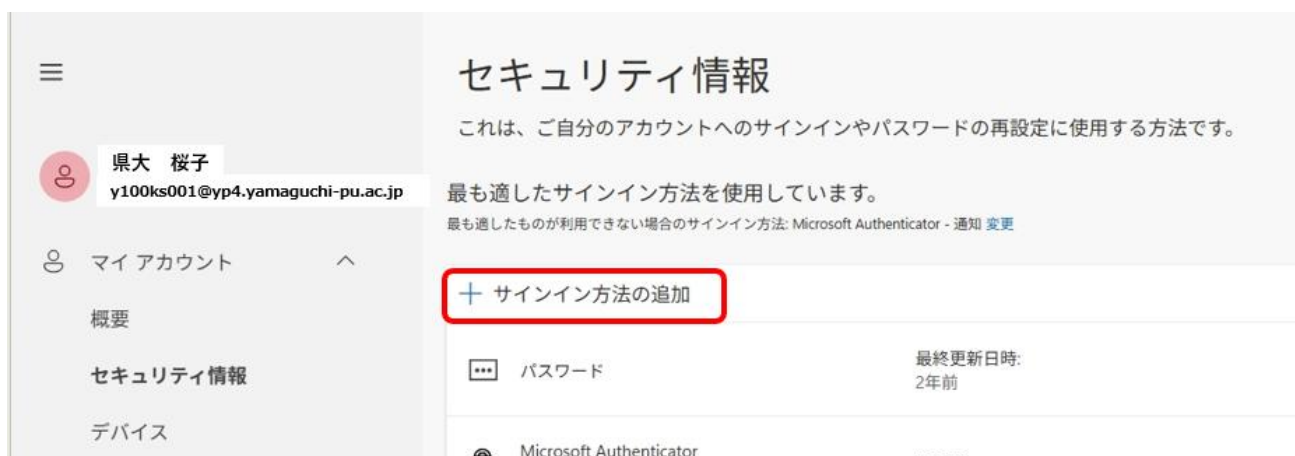
左下の自分の名前をクリックし、「アカウントの表示」をクリックします。



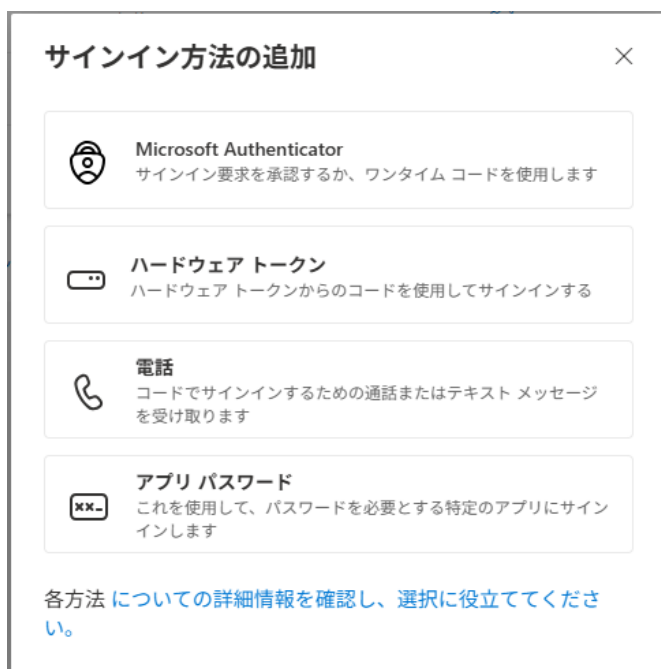
以下の表示になりますので「セキュリティ情報」をクリックします。



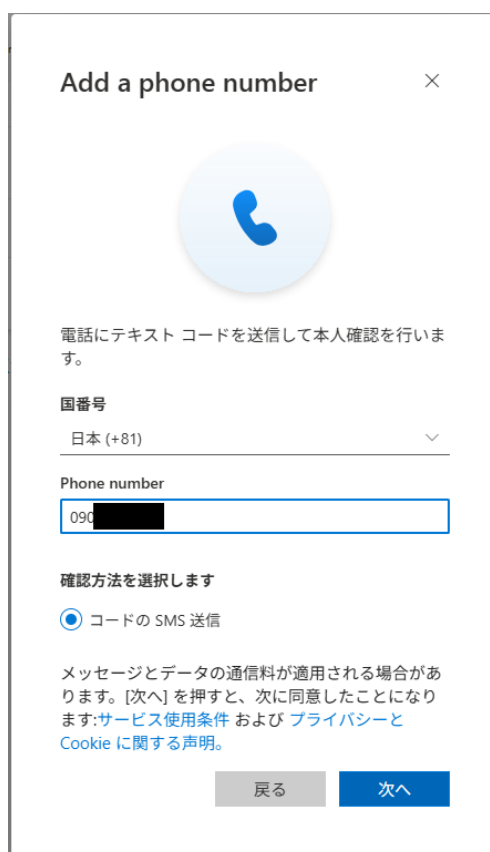
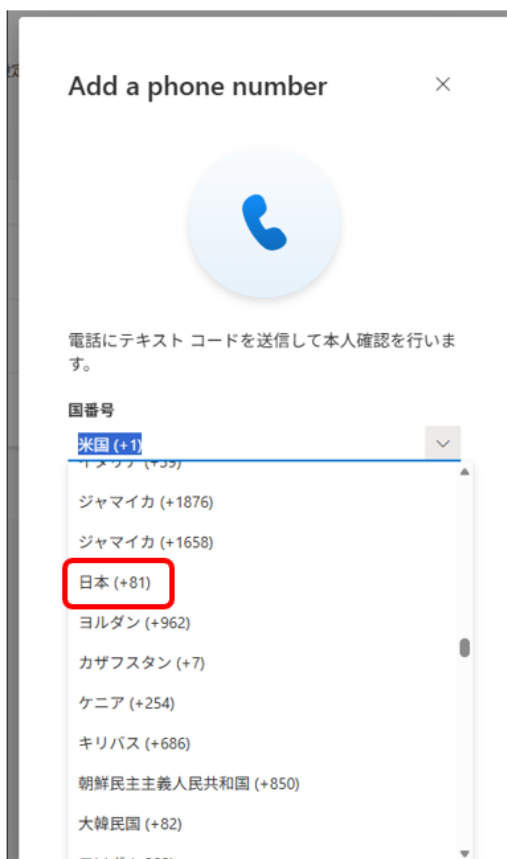
二けたの数字が表示されますので、スマホの Authenticator に入力し、スマホの画面に従って進めます。PC は以下の画面になりますので、「サインイン方法の追加」をクリックします。



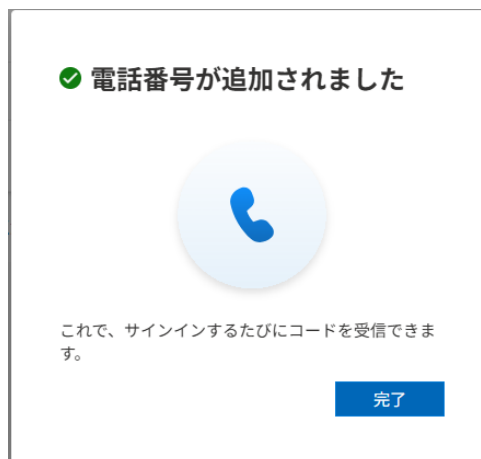
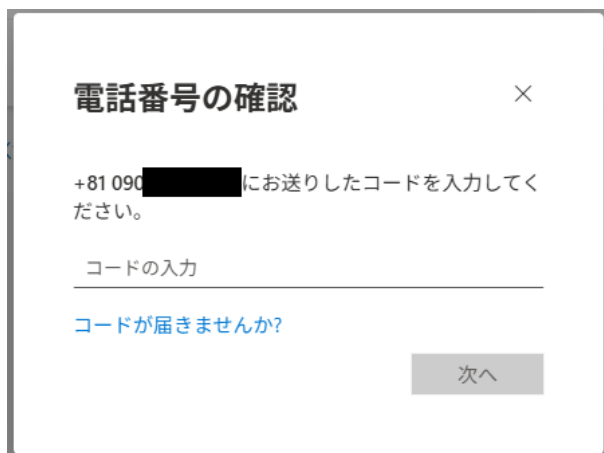
「電話」をクリックします。



日本を選択し、電話番号を入力し、「次へ」をクリックします。



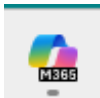
スマホに6桁の数字がメッセージとして届きますので、以下の PC 画面へ入力し、「次へ」をクリックします。「完了」をクリックします。



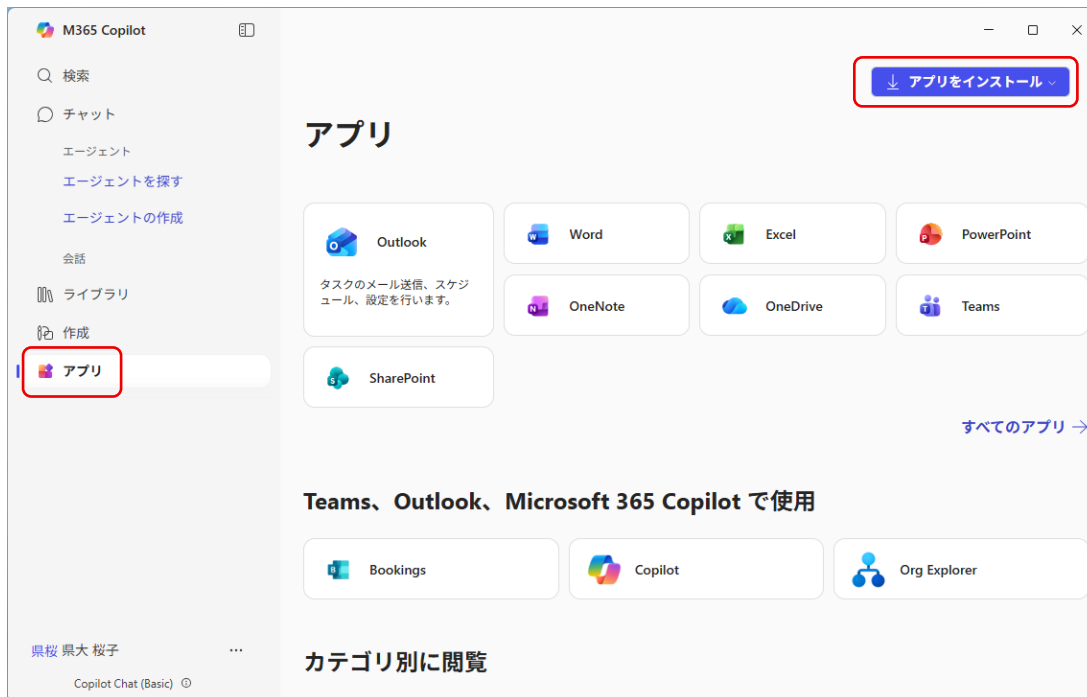
### 3. Office アプリのインストール

Word、Excel、Outlook といったアプリの総称が Office です。皆さまには Microsoft365 の最新版の Office をインストールするための A5 と呼ばれるライセンスが付与されています。もし、パソコンに Office がインストールされていない場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

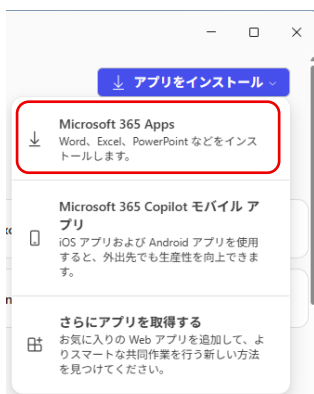
タスクバーにある Microsoft365Copilot のアイコンをクリックして起動しますタスクバーにない場合は、スタートメニューから「Microsoft 365 Copilot」を起動してください。「Microsoft365 Copilot」が見つからない場合は、<https://m365.cloud.microsoft/> をクリックします。



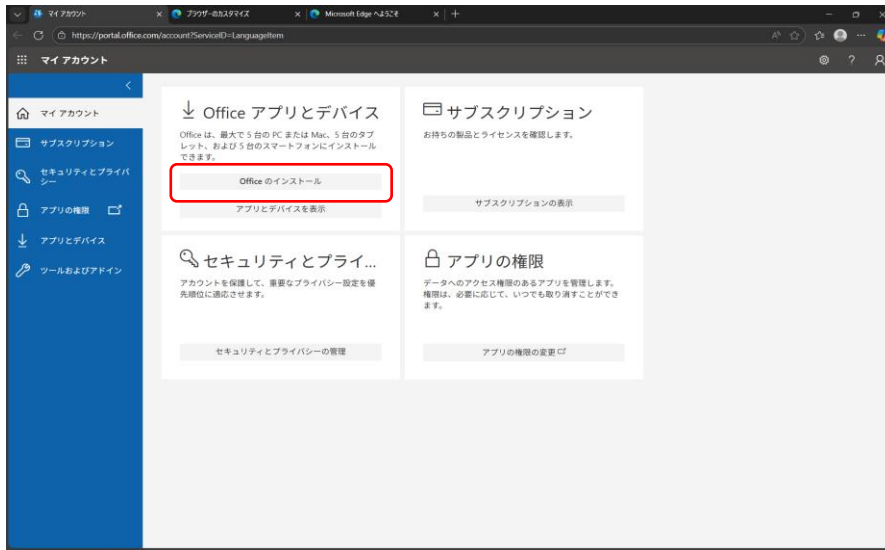
画面左の「アプリ」の文字をクリックすると、画面右上に「アプリをインストール」が表示されるのでクリックします。



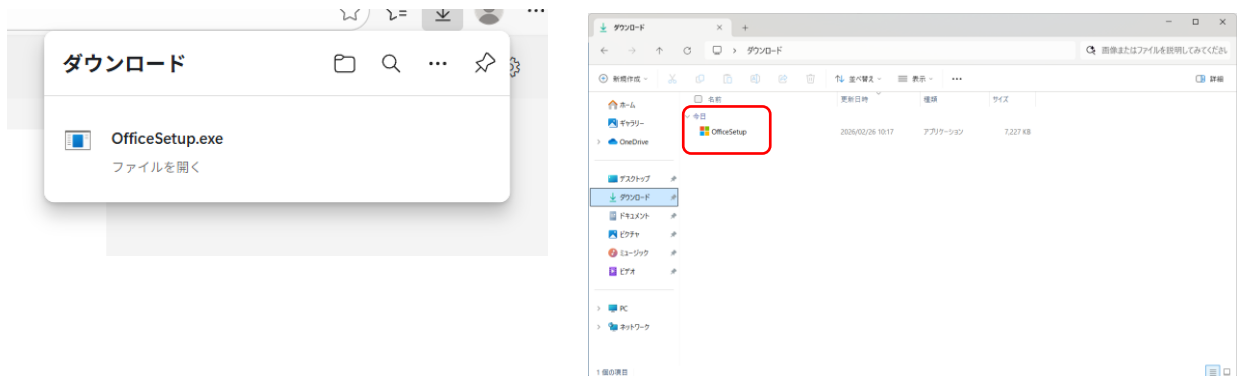
「Microsoft 365 Apps」を選択します。



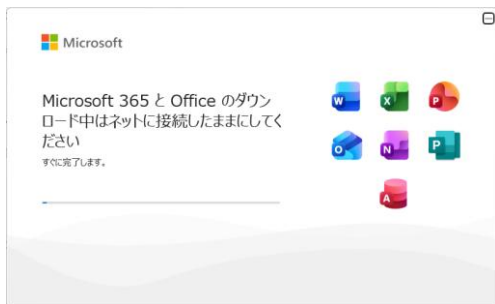
「Office のインストール」をクリックします。



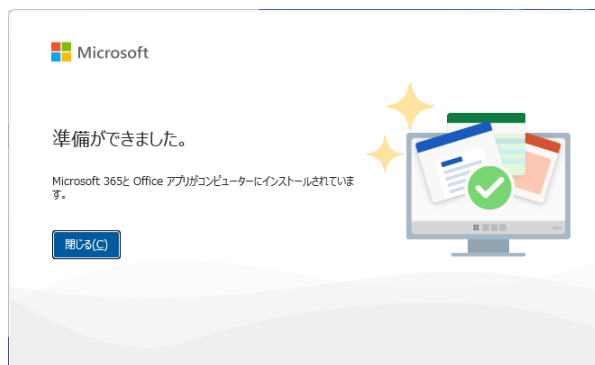
しばらくすると、画面右上のダウンロード欄に「OfficeSetup」が出るので「ファイルを開く」をクリックします。(表示が出ないか消えてしまった場合は、Windows エクスプローラーから「ダウンロード」フォルダを開き、「OfficeSetup」をダブルクリックして実行します)



その後、下記の画面がでるのでしばらく待ちます。



インストールが完了したら下記画面が出るので「閉じる」をクリックします。



以上で、最新版 Office のインストールは完了し、アプリを使用できる準備が整いました。

#### 4. 注意・補足事項

今回インストールした最新版 Office の中で使用頻度の高いアプリの説明は次の通りです。

- Word: ワードプロセッサで、文書作成や編集に使用されます。
- PowerPoint: プレゼンテーション作成ツールで、スライドショーを作成できます。
- Excel: スプレッドシート（表計算）アプリで、データの分析や計算に適しています。
- Teams: コラボレーションツールで、チャット、ビデオ会議、ファイル共有ができます。
- OneNote: ノート作成アプリで、メモやアイデアの整理に便利です。
- Outlook: メールクライアントで、メールの送受信やカレンダー管理ができます。

この中で、Outlook と Teams のカレンダー機能では、スケジュールを共有したり授業や打ち合わせの予定を送付したり、それに対して承認などを返信することができます。この機会にメールのやりとりは、Outlook を用いることを推奨いたします。Outlook の設定については、「Outlook 初期設定手順書」を参照ください。

また、次に示すアプリの使用も可能です。インストールせずに WEB で使用するものも含まれます。積極的な活用を期待いたします。

- Stream: 動画共有プラットフォームで、教育コンテンツの共有に適しています。
- Access: データベース管理ツールで、データの整理と分析ができます。
- OneDrive: クラウドストレージで、ファイルの保存と共有ができます。
- SharePoint: チームメンバーがファイルやドキュメントを共有し、効率的にアクセスできるプラットフォームです。
- Forms: アンケートやクイズを作成し、回答を収集できるツールです。
- Lists: データの追跡と整理を支援するアプリです。
- Power BI: 様々な数値データをグラフや集計表として可視化し、解析するツールです。ビジネス上

の迅速な意思決定を実現できます。

- Planner: タスク管理ツールで、プロジェクトの進捗を追跡できます。
- Viva Learning: 学習コンテンツを統合的に管理し、学習体験を向上させます。
- Power Apps: カスタムアプリケーションを作成するためのプラットフォームです。
- Power Automate: ワークフローを自動化することで、繰り返し作業が簡単になります。
- Whiteboard: コラボレーション用のデジタルホワイトボード。
- Visio: 図表やフローチャートを作成するアプリです。
- 承認: Teams の中で稟議・承認を行えるアプリです。

Microsoft365 は30日に1回程度インターネット経由でライセンス認証が必要です。認証自体はバックグラウンドで行われるので、普段からサインインして使用していれば気にする必要はありませんが、端末が30日以上オフラインとなると機能低下モードとなりますのでご注意ください。ネットにつなぎMicrosoft365にサインインすることで、通常モードに戻ります。

本ライセンスは、“個人” に対して紐づくものです。本人以外の利用はできません。また、一つの端末を複数の人が使用する場合は、都度、その人のアカウントでサインインして使用することとなります。同じアカウントを複数の人が使いまわすことはライセンス違反となりますので、行わないでください。

パソコンを複数台持たれている方もおられると思いますが、今回契約している A5 プランにおいては、1ライセンス (=1メールアドレス) 当たり、パソコン5台、タブレット5台、モバイルデバイス5台の最大15台までインストール可能です。もし、パソコンの買い替えなどにより、6台目のパソコンで Office を使用したい場合は、使用しなくなったパソコンを廃棄する前に、サインインした状態でアカウントの管理画面にて、該当のデバイスを“無効” にしてください。Office をアンインストールしただけではライセンスは無効にはなりませんので、ご注意ください。

## 5. 問い合わせ先

将来構想推進局 DX・IR推進室（外線：083-929-6201）